

第 10 回 事務局会 議事録

日 時：2007 年 11 月 26 日（15:00～18:00）

場 所：学会センタービル B1F 会議室

出席者：村山会長、落合会報担当理事、太田 GISCD 副局長、今井総務担当理事、長坂財務担当理事、佐藤広報委員、小口涉外委員長、大沢大会実行委員長、福井事務局長、浅野、楠木（事務局）

報告事項

日本地球惑星科学連合 第 6 回評議会報告（11 月 6 日）

大会報告

GIS 技術資格認定期報告

科研費申請、中教審・教育課程部会へのパブリックコメント、ニュースレター報告

議題

選挙管理委員会の設置について

会長・副会長選挙について

来年度春季理事会・総会日程について

次期委員会の新設改廃について

次期運営委員会日程について

日本地球惑星科学連合 第6回評議会報告(11月6日)

村山会長より、日本地球惑星科学連合に、日本活断層学会と日本鉱物学会が新たに加盟した旨の報告があった。

連合の年次大会は、5月25日(月)～30日(金)の6日間、幕張メッセにおいて開催される。

本件の周知として、学会ホームページへの掲載の要請があった。

また、連合の公益法人化については賛成する方向で了承された。

連合の年次大会において、国際地理オリンピックおよび国際地学オリンピック後援にむけてのシンポジウムが開催される予定である。

将来構想委員会では、法人後の連合のあり方を検討しており、その活動においてはセクション制を提案している。近日中に、加盟学協会にその具体的な内容が提示される予定である。

大会報告

会計担当の浅野事務局次長より、大会会計報告がなされた。落合会報担当より、報告方法は各予算に対しての赤黒を算出せよとの指摘がなされた。

		予算	決算
収入	正会員	300,000	262,000
	学生会員	100,000	31,000
	非会員(一般)	560,000	236,000
	学部生	0	15,000
	懇親会	240,000	432,000
	小計	1,200,000	976,000
支出	会場費	330,000	312,120
	人件費	320,000	319,600
	会議費	80,000	88,312
	懇親会費	300,000	329,400
	通信運搬費	70,000	14,740
	消耗品費	100,000	139,808
	小計	1,200,000	1,203,980

* 227,980円の赤字となりました。

大会に関して今年持ち上がった問題点は以下の通りである。

・懇親会

北海道大会の懇親会は 108 名と過去最高人数であった。あらかじめ人数の読めない懇親会については、地方開催の場合、人数を多めに予測し、手配するのが無難である。
また、受付に別のブースを設け、そこで懇親会費を支払えるようにすればよいという意見があった。

・写真

写真担当のアルバイトを決め、各方面の写真をもれなく集めたい。

・学会賞

学術論文部門の提出物に関する 3-5 の一覧表は、作成するに当たって、膨大な手間と時間がかかる作業なので、この規定を除外したほうが良いのではないかという提案があった。

・ 大会優秀発表賞について

大会優秀発表賞の選定基準が曖昧なので、受賞者にバラつきができる。明確な受賞基準を設けるべきであり、また本件は前述の学会賞同様、学会賞委員会内で検討されるべき案件である。

GIS 技術資格認定期報告

太田 GISCD 副局長より、「GIS 資格認定期」への名称変更と、規約の最終案を作成の後、IT 理事会にて報告する予定である旨、報告がなされた。

科研費申請、中教審・教育課程部会へのパブリックコメントが提出済みであることが報告された。また、12月発行のニュースレターに大会セッション報告の無かった「空間情報技術」については、来年3月発行のニュースレターに追加報告を掲載することが要請された。

選挙管理委員会の設置について

会長・副会長選出スケジュールと内規の確認の後、下記 3 名を選挙管理委員とした。

委員長：今井修（東京大学）

委員：大沢裕（埼玉大学）、落合司郎（アジア航測株）

第 1 回選挙管理委員会の開封作業は、1月 7 日(月)～11 日(金)のいずれかの間に行う。

来年度春季理事会・総会日程について

開催日は 4 月 26 日とし、場所は東京大学工学部 14 号館の予定である。出欠票の回収は、

昨年度と同様に web から行う。

平成 19 年度の理事会・総会はほぼ同じメンバーが出席していることから、同時に行われたが、今年度は前もって理事会を IT 理事会で行うこととしてはどうかという提案がなされた。また、総会に先立って講演会の開催が検討された。

次期委員会の新設改廃について（資料：各委員会役割一覧と規定）

SIG は総務の担当より独立させ「SIG 委員会」を再度設ける。

会報担当のニュースレター（既刊分）HP 公開に関しては、事務局より PDF を広報委員会へ依頼するよう要請があった。

また、会報委員会の規定は、「廃止」として IT 理事会にかけることとなった。

事務局長の役割をもっと明確に提示して欲しい旨、要請があった。

以下は、修正点である。

（企画） 「アドバイザリー会議の主催」が追加された。

（渉外） 「男女共同参画担当」が追加された。

（GISCD） 「 GIS 教育主催者の認定・発行」が追加された。

上記を再度まとめなおし、新しい理事への周知徹底が必要ということになった。

また、大沢大会実行委員長より、事務局は全業務、各委員長はノウハウを来年 3 月までに文書化し、後任者へ引継ぎしていただければスムーズな学会運営が可能になるのではという提案がなされた。

次期運営委員会日程について

次回は事務局会ではなく、運営委員会となる。

平成 20 年 1 月 21 日（月）15:00 からの開催が予定されている。予算編成等を鑑み、全委員長または代理の出席を求める予定である。